

平成 20 年度 東海大学 一般入試 A 方式 (受験日自由選択方式)  
 数学 I・数学 II・数学 A(70 分) 平成 20 年 2 月 9 日  
 政治経済学部・総合経営学部・法学部・教養学部・国際文化学部  
 芸術工学部・開発工学部・海洋学部・健康科学部

次の空欄を埋めなさい。

解答は、分数の場合には既約分数の形で書きなさい。

- 1 (1)  $y = 4 - \sin^2 x - 4 \cos x$  ( $0 \leq x \leq 2\pi$ ) の最大値は  であり、最小値は  である。
- (2) 次の式を展開すると、  
 $(x + \sqrt{2} + \sqrt{3})(x + \sqrt{2} - \sqrt{3})(x - \sqrt{2} + \sqrt{3})(x - \sqrt{2} - \sqrt{3}) =$   である。
- (3)  $a = \frac{2\sqrt{3}}{\sqrt{3} - \sqrt{2}}$  の分母を有理化して整理すると  $a =$   である。この  $a$  を用いて  $(a-6)(a-3)$  を計算すると  となる。また、 $a^2 - 6a =$   となる。
- (4)  $(x-2)(x^2-x+2) + x^2 - 2x + 3$  を実数の範囲で因数分解すると  となる。
- 2 大小 2 個のサイコロを投げ、出た目の数をそれぞれ  $x, y$  とし、分数  $\frac{y}{x}$  を作る。
- (1)  $\frac{y}{x} = 2, \frac{y}{x} = \frac{1}{5}$  となる確率はそれぞれ ,  である。
- (2)  $\frac{y}{x} = 1$  となる確率は  であり、 $\frac{y}{x} < 1$  となる確率は  である。
- (3)  $\frac{y}{x}$  が整数になる確率は  であり、 $\frac{y}{x}$  が 1 以上の分数であって整数にならない確率は  である。
- (4)  $\frac{y}{x}$  の値のとり方は全部で  通りある。
- 3 (1) 鋭角三角形 ABC において、 $AC = 6, BC = 5$  とし、その面積を  $6\sqrt{6}$  とする。このとき、 $\sin C =$   であり、 $\cos C =$   である。また、辺 AB の長さは  であり、外接円の半径は  である。
- (2) 長さが 20 の線分 AB 上に点 P をとり、AP を 1 辺とする正三角形と BP を 1 辺とする正三角形を作る。これら 2 つの正三角形の面積の和が最小となるのは  $AP =$   のときであり、そのときの面積の和は  である。

## 解答例

- 1 (1)  $4 - \sin^2 x - 4 \cos x = \cos^2 x - 4 \cos x + 3$  であるから  
 $\cos x = t$  とおくと,  $0 \leq x \leq 2\pi$  より

$$y = t^2 - 4t + 3 = (t - 2)^2 - 1 \quad (-1 \leq t \leq 1)$$

この関数のグラフは, 下に凸の放物線で, 軸は  $t = 2$  である.  
 $t = -1$  のとき最大値 8 をとり,  $t = 1$  のとき最小値 0 をとる.

$$\begin{aligned} (2) \quad & (x + \sqrt{2} + \sqrt{3})(x + \sqrt{2} - \sqrt{3})(x - \sqrt{2} + \sqrt{3})(x - \sqrt{2} - \sqrt{3}) \\ &= \{(x + \sqrt{2})^2 - (\sqrt{3})^2\} \{(x - \sqrt{2})^2 - (\sqrt{3})^2\} \\ &= (x^2 + 2\sqrt{2}x - 1)(x^2 - 2\sqrt{2}x - 1) \\ &= \{(x^2 - 1) + 2\sqrt{2}x\} \{(x^2 - 1) - 2\sqrt{2}x\} \\ &= (x^2 - 1)^2 - (2\sqrt{2}x)^2 \\ &= x^4 - 2x^2 + 1 - 8x^2 \\ &= \mathbf{x^4 - 10x^2 + 1} \end{aligned}$$

$$(3) \quad a = \frac{2\sqrt{3}}{\sqrt{3} - \sqrt{2}} = \frac{2\sqrt{3}(\sqrt{3} + \sqrt{2})}{(\sqrt{3} - \sqrt{2})(\sqrt{3} + \sqrt{2})} = \mathbf{6 + 2\sqrt{6}}$$

$$\begin{aligned} (a - 6)(a - 3) &= \{(6 + 2\sqrt{6}) - 6\} \{(6 + 2\sqrt{6}) - 3\} \\ &= 2\sqrt{6}(3 + 2\sqrt{6}) \\ &= \mathbf{6\sqrt{6} + 24} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} a^2 - 6a &= a(a - 6) \\ &= (6 + 2\sqrt{6})\{(6 + 2\sqrt{6}) - 6\} \\ &= (6 + 2\sqrt{6}) \cdot 2\sqrt{6} \\ &= \mathbf{12\sqrt{6} + 24} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (x - 2)(x^2 - x + 2) + x^2 - 2x + 3 \\ &= x^3 - 2x^2 + 2x - 1 \\ &= x^3 - 1 - 2x(x - 1) \\ &= (x - 1)(x^2 + x + 1) - 2x(x - 1) \\ &= (x - 1)\{(x^2 + x + 1) - 2x\} \\ &= \mathbf{(x - 1)(x^2 - x + 1)} \end{aligned}$$

答 ア. 8   イ. 0   ウ.  $x^4 - 10x^2 + 1$    エ.  $6 + 2\sqrt{6}$    オ.  $6\sqrt{6} + 24$   
カ.  $12\sqrt{6} + 24$    キ.  $(x - 1)(x^2 - x + 1)$

**2** 大小2個のサイコロの目の出方は  $6 \times 6$  の36通り

(1)  $\frac{y}{x} = 2$  となるのは  $(x, y) = (1, 2), (2, 4), (3, 6)$  の3通り

よって、求める確率は  $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$

$\frac{y}{x} = \frac{1}{5}$  となるのは  $(x, y) = (5, 1)$  の1通り

よって、求める確率は  $\frac{1}{36}$

(2)  $\frac{y}{x} = 1$  となるのは

$(x, y) = (1, 1), (2, 2), (3, 3), (4, 4), (5, 5), (6, 6)$  の6通り

よって、求める確率は  $\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$

$\frac{y}{x} < 1$  となるのは

$x = 2$  のとき  $y = 1$

$x = 3$  のとき  $y = 1, 2$

$x = 4$  のとき  $y = 1, 2, 3$

$x = 5$  のとき  $y = 1, 2, 3, 4$

$x = 6$  のとき  $y = 1, 2, 3, 4, 5$

の  $1 + 2 + 3 + 4 + 5$  の15通り

よって、求める確率は  $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$

(3)  $\frac{y}{x}$  が整数となるのは

$x = 1$  のとき  $y = 1, 2, 3, 4, 5, 6$

$x = 2$  のとき  $y = 2, 4, 6$

$x = 3$  のとき  $y = 3, 6$

$x = 4$  のとき  $y = 4$

$x = 5$  のとき  $y = 5$

$x = 6$  のとき  $y = 6$

の  $6 + 3 + 2 + 1 + 1 + 1$  の14通り

よって、求める確率は  $\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$

$\frac{y}{x}$  が 1 以上の分数であって整数にならないのは

$$x = 2 \text{ のとき } y = 3, 5$$

$$x = 3 \text{ のとき } y = 4, 5$$

$$x = 4 \text{ のとき } y = 5, 6$$

$$x = 5 \text{ のとき } y = 6$$

の  $2+2+2+1$  の 7 通り

よって、求める確率は  $\frac{7}{36}$

(4)  $\frac{y}{x} < 1$  となる値の取り方を調べると

$$\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6}, \frac{1}{3} = \frac{2}{6}, \frac{2}{3} = \frac{4}{6}, \frac{1}{4} = \frac{3}{4}, \frac{3}{5} = \frac{2}{5}, \frac{4}{5} = \frac{1}{5}, \frac{5}{6} = \frac{1}{6}, \frac{5}{6}$$

の 11 通りある．同様に  $\frac{y}{x} > 1$  となる値も 11 通りある．これらの値の取り方と  $\frac{y}{x} = 1$  となる値の取り方を含めて、 $11+11+1$  の 23 通り．

答 ア.  $\frac{1}{12}$  イ.  $\frac{1}{36}$  ウ.  $\frac{1}{6}$  エ.  $\frac{5}{12}$  オ.  $\frac{7}{18}$  カ.  $\frac{7}{36}$  キ. 23

**3** (1)  $AC = 6, BC = 5, S = 6\sqrt{6}$  を  $S = \frac{1}{2}AC \cdot BC \sin C$  に代入すると

$$6\sqrt{6} = \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 5 \sin C \quad \text{これを解いて} \quad \sin C = \frac{2\sqrt{6}}{5}$$

$\sin^2 C + \cos^2 C = 1$  から

$$\cos^2 C = 1 - \sin^2 C = 1 - \left(\frac{2\sqrt{6}}{5}\right)^2 = \frac{1}{25}$$

$C$  は鋭角より、 $\cos C > 0$  であるから  $\cos C = \sqrt{\frac{1}{25}} = \frac{1}{5}$

余弦定理により

$$\begin{aligned} AB^2 &= BC^2 + CA^2 - 2BC \cdot CA \cos C \\ &= 5^2 + 6^2 - 2 \cdot 5 \cdot 6 \cdot \frac{1}{5} \\ &= 49 \end{aligned}$$

$AB > 0$  であるから  $AB = 7$

外接円の半径を  $R$  とすると、正弦定理により  $\frac{AB}{\sin C} = 2R$

したがって  $R = \frac{1}{2} \times \frac{AB}{\sin C} = \frac{1}{2} \times 7 \div \frac{2\sqrt{6}}{5} = \frac{35}{4\sqrt{6}} = \frac{35\sqrt{6}}{24}$

(2)  $AP = x$  とすると、 $BP = 20 - x$

$AP, BP$  を 1 辺とする 2 つの正三角形の面積の和を  $S$  とすると

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2}x^2 \sin 60^\circ + \frac{1}{2}(20 - x)^2 \sin 60^\circ \\ &= \frac{\sqrt{3}}{4}\{x^2 + (20 - x)^2\} \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2}(x^2 - 20x + 200) \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2}(x - 10)^2 + 50\sqrt{3} \end{aligned}$$

したがって、 $x = AP = 10$  のとき、 $S$  は最小値  $50\sqrt{3}$  をとる。

答 ア.  $\frac{2\sqrt{6}}{5}$  イ.  $\frac{1}{5}$  ウ. 7 エ.  $\frac{35\sqrt{6}}{24}$  オ. 10 カ.  $50\sqrt{3}$